

2021. **12**  
No. **213**

# 調査レポート

## 県内勤労者の消費・貯蓄動向 ～第66回くらしのアンケートから～

---

要	約	.....	1
1	家計の状況	.....	3
2	今冬の買物計画	.....	4
3	おけい事、塾・サークル	.....	6
4	貯蓄	.....	7
5	ローン等の利用	.....	8
6	冬季ボーナス	.....	9
7	お歳暮	.....	11
8	冬休み、年末・年始の過ごし方	.....	12

---

## 要 約

### 1. 家計の状況

- 1年前と比べた暮らし向きは、「良くなった」が9.7%、「悪くなった」が23.3%、「変わらない」が67.0%。「良くなった」から「悪くなった」を引いた差は△13.6。県内景気は緩やかな改善が続いているものの、新型コロナウイルス感染者数の増減にあわせて経済活動の制限と緩和が繰り返されている。このように同感染症の収束が見通せないなか、景気の先行き不透明感は払しょくできず、県内勤労者の生活実感も悪化していると考えられる。
- 家計上の悩みは、「収入の伸び悩み」が最も多く、以下、「税金等負担増」、「物価上昇」の順。

### 2. 今冬の買物計画

- この冬購入したい商品は、「婦人服」、「紳士服」、「子供服」、「暖房機器」、「家具・インテリア」の順。
- 昨冬比で購入予定比率が上昇した品目は4品目に止まり、上昇幅も小幅。一方で14品目が低下しており、消費マインドは引き続き弱含み。
- 購入予定先は「インターネット通販」、「一般小売店」、「スーパー・ショッピングセンター」、「家電量販店」、「ホームセンター」の順。

### 3. おけいこ事、塾・サークル

- 参加したいおけいこ事は、「料理」が1位で、以下、「ビジネス・キャリアアップ講座」、「外国語会話」、「楽器」の順。
- 年代別では、20代、30代、40代は1位から3位までが全体と同順位となっている

(40代ではプログラミングが同率3位)が、50代以上では1位が「料理」で、2位が「パソコン」、3位が「ビジネス・キャリアアップ講座」・「楽器」(同順位)。

### 4. 貯 蓄

- 平均貯蓄額は500万円で、現在利用している金融商品は、「銀行預金」、「ゆうちょ銀行貯金」、「生命保険」、「個人年金」の順。今後増やしたい金融商品は、「銀行預金」、「ゆうちょ銀行貯金」、「投資信託」、「株式」の順。
- 貯蓄する際、重視する点は「元金の保証があり安心」が最多で、以下、「利回りが良い」、「預け入れ引き出しが自由」の順。

### 5. ローン等の利用

- ローン等の利用者は28.9%で、平均借入額は1,028万円。
- 利用目的は「土地・住宅の購入」が最も多く、以下、「自動車・家電品の購入」、「教育資金以外の生活資金」の順。
- 借入先は「銀行」が最も多く、以下、「月賦・クレジット会社」、「銀行以外の金融機関」の順。

### 6. 冬季ボーナス

- 冬季ボーナスは、すべての年代で「減りそう」が「増えそう」を上回ったが、両比率の差(「増えそう」-「減りそう」)は△26.8と、昨冬の△44.7から17.9ポイント上昇。企業業績の持ち直しを背景に、ボーナス支給に対する厳しい見方が緩和。
- 平均手取り予想額は35万7千円。使いみちは「貯蓄」が最も多く、以下、「買物」、「ローン返済」、「旅行・レジャー」の順。

## 7. お歳暮

- お歳暮を贈る予定者は、全体の32.3%。贈る件数は「2件以下」が最も多く、平均件数は2.6件。
- 1件あたりの単価は、「3,000円程度」が最多。平均単価は4,042円。
- 贈りたい商品は「ビール」（含むビール券）が最多で、以下、「ハム」、「お菓子」、「調味料」の順。

## 8. 冬休み、年末・年始の過ごし方

- 「特に予定なし」が最も多く、以下、「日帰り旅行」、「国内宿泊旅行」、「帰郷」、「スポーツ・健康づくり」、「海外旅行」の順。
- 冬休み、年末・年始の過ごし方について、「特に予定なし」と回答された方のうち、40.4%は新型コロナウイルス感染症の影響があったと回答。

### ● 調査実施要領

調査対象：インターネット調査会社にモニター登録されている県内の勤労者536名

調査方法：調査会社モニターあてのWebアンケート調査

調査時期：2021年10月下旬から11月上旬

#### 〈 回 答 者 内 訳 〉

内訳	項目	回答者数	構成比
年 代 別	20代	109人	20.3%
	30代	107	19.9
	40代	160	29.9
	50代以上	160	29.9
家 族	既婚	277	51.7
	未婚	259	48.3
性 別	男性	324	60.4
	女性	212	39.6
合 計		536	100.0

## (特別調査) 新型コロナウイルス感染症関連

新型コロナウイルス感染症関連として、「新型コロナウイルスへの不安の程度とその理由」、「感染収束後の行動希望」の調査を実施。

- 新型コロナウイルスに対する不安の程度については、「とても不安に感じている」が21.8%、「やや不安に感じている」が51.3%で合計73.1%となった。不安を感じる理由（複数回答）としては、1位が「いつどこで感染するかわからない」（67.4%）、2位が「いつ感染が収束するかわからない」（53.0%）の順。
- 収束後にやりたいこと（複数回答）については、「国内旅行」が最も多く、以下、「外食」、「テーマパーク等へのお出かけ」、「海外旅行」、「コンサート・ライブへの参加」の順。

#### (参考) 前回(2020年冬季)内訳

内訳	項目	回答者数	構成比
年 代 別	20代	85人	16.9%
	30代	105	20.8
	40代	154	30.6
	50代以上	160	31.7
家 族	既婚	200	39.7
	未婚	304	60.3
性 別	男性	333	66.1
	女性	171	33.9
合 計		504	100.0

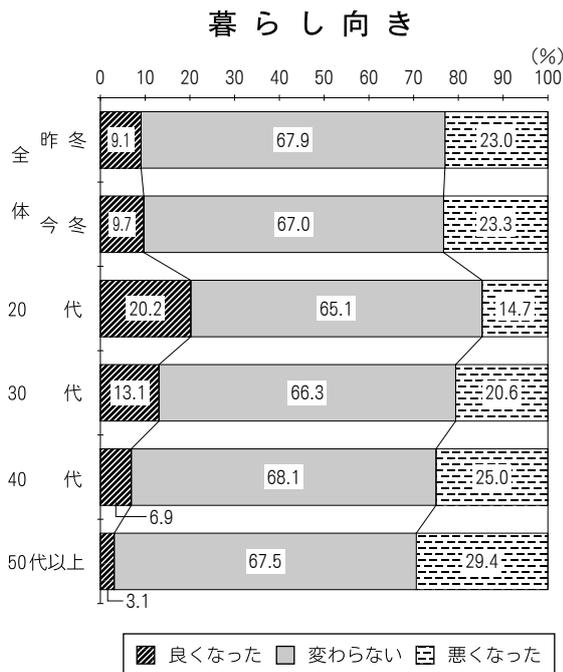
# 1 家計の状況

## 暮らし向きは悪化が続く

1年前と比べた暮らし向きは、「良くなった」が9.7%、「悪くなった」が23.3%、「変わらない」が67.0%となった。この結果、「良くなった」から「悪くなった」を引いた差は△13.6となった。

県内景気は緩やかな改善が続いているものの、緊急事態宣言の発出・解除やまん延防止等重点措置の適用・解除など、新型コロナウイルス感染者数の増減にあわせて経済活動の制限と緩和が繰り返されている。このように同感染症の収束が見通せないなか、景気の先行き不透明感は払しょくできず、県内勤労者の生活実感も悪化していると考えられる。

年代別にみると、「悪くなった」の回答比率が最も高かったのは50代以上（29.4%）で、以下、40代（25.0%）、30代（20.6%）、20代（14.7%）と続いた。若年層と比べて生活費負担の重い中高年層で、生活実感の厳しさをより強く感じている状況が窺われる。

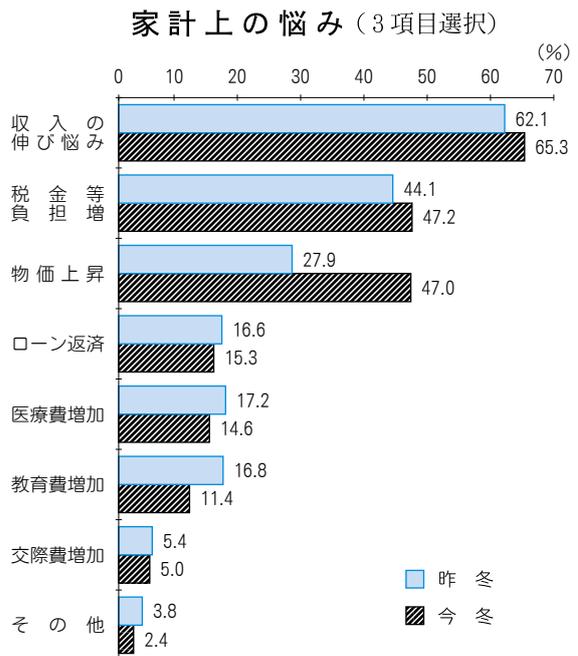


## 家計上の悩みは「物価上昇」が急伸

家計上の悩み（3項目選択）は、「収入の伸び悩み」が最も多く、以下、「税金等負担増」、「物価上昇」と続いた。

上位項目を昨冬と比較すると、トップ3の順位に変動はないものの、3位の「物価上昇」が27.9%から47.0%（+19.1ポイント）と大きく上昇した。食料品の値上がりや足元での原油価格上昇などの影響が反映されたとみられる。また、1位の「収入の伸び悩み」（+3.2ポイント）、2位の「税金等負担増」（+3.1ポイント）も、それぞれ比率が上昇した。

その他の項目をみると、「教育費増加」（△5.4ポイント）、「医療費増加」（△2.6ポイント）、「ローン返済」（△1.3ポイント）などの比率が低下した。なお、「交際費増加」は5.0%と昨冬に引き続き低位にとどまっており、不要不急の外出や会食を控える動きが続いていると考えられる。



## 2 今冬の買物計画

### 消費マインドは引き続き弱含み

この冬購入したい商品（20品目について複数回答）は、「婦人服」が最多で、以下、「紳士服」、「子供服」、「暖房機器」、「家具・インテリア」と続いた。1位、2位、4位は変動がなかったが、昨冬3位の「スマートフォン」が6位に順位を下げた一方、昨冬5位の「子供服」、同6位の「家具・インテリア」が各々3位、5位へと順位を上げた。

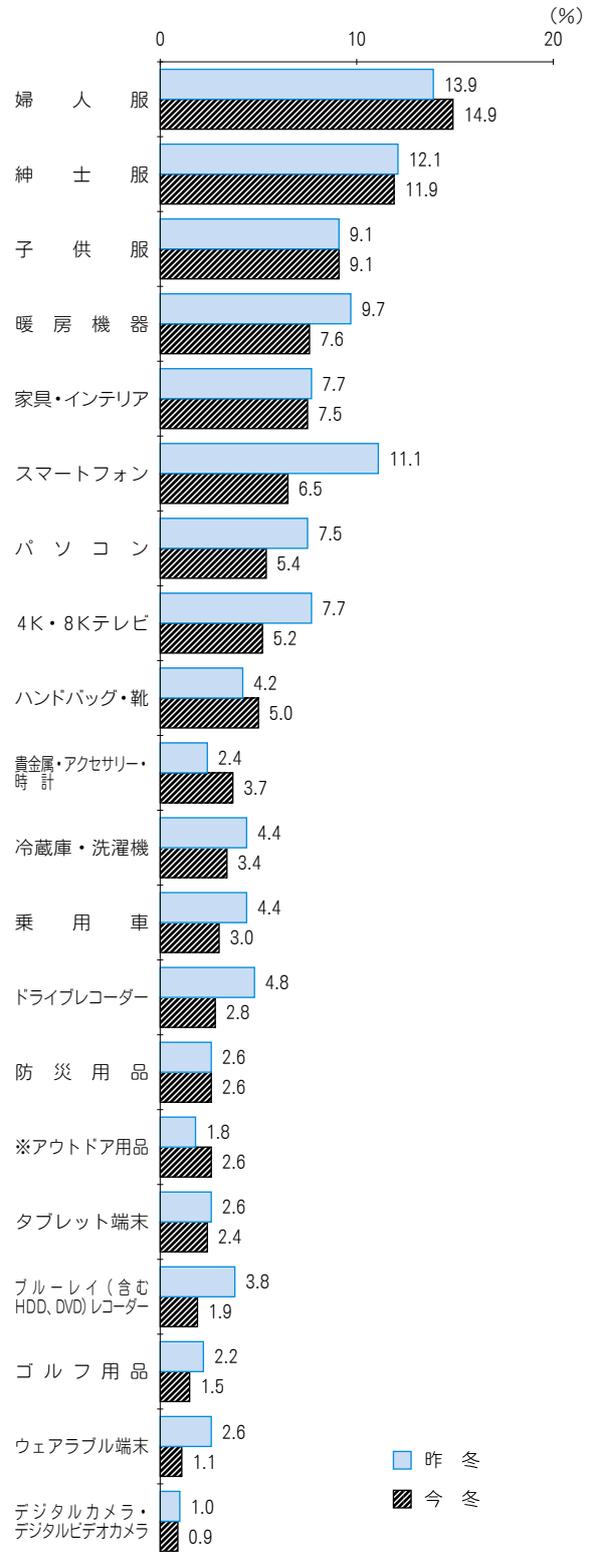
昨冬と比べて購入予定比率が上昇した品目をみると、「婦人服」、「ハンドバッグ・靴」、「貴金属・アクセサリー・時計」、「アウトドア用品」の4品目（昨冬3品目）で、上昇幅も1%前後と小幅にとどまっている。新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控える向きもあるなか、引き続き消費マインドには弱さがみられる。

### 家電関連の購入予定が低下

購入予定比率が低下した品目は、「紳士服」、「暖房機器」、「家具・インテリア」、「スマートフォン」、「パソコン」、「4K・8Kテレビ」、「冷蔵庫・洗濯機」、「乗用車」、「ドライブレコーダー」、「タブレット端末」などの14品目（昨冬17品目）となった。

このうち下落幅が最も大きかったのは「スマートフォン」で、以下、「4K・8Kテレビ」、「暖房機器」、「パソコン」の順となっており、家電関連での比率低下が目立った。

主要商品の購入予定状況（複数回答）



※昨冬は「ウインタースポーツ用品（スキー・スノーボード等）」

## 購入予定先はインターネットが1位

この冬購入したい商品の購入予定先（複数回答）は、「インターネット通販」が最も多く、以下、「一般小売店」、「スーパー・ショッピングセンター」、「家電量販店」、「ホームセンター」と続いた。

「インターネット通販」の比率は21.3%で、昨冬（38.3%）からは17.0ポイントの大幅な低下となったものの、引き続き1位となった。スマートフォンの普及や、新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控える動きが続いている

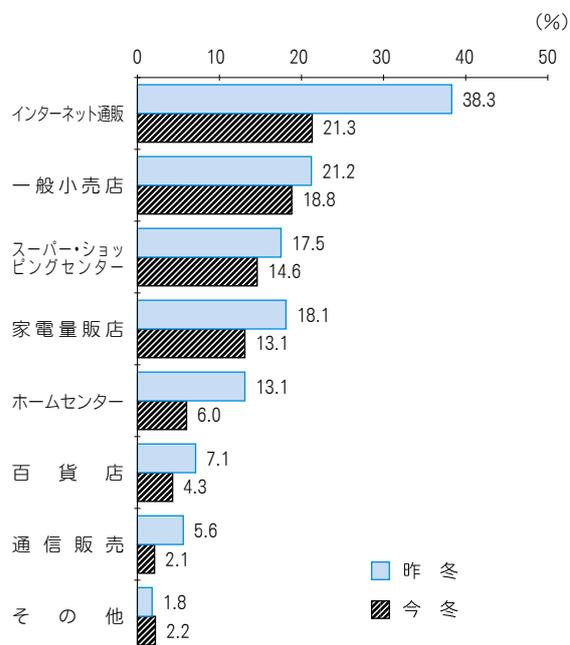
ことなどを背景に、インターネットでの購入が定着してきていると考えられる。

昨冬との比較をみると、「その他」を除くすべての項目で比率が低下している。消費マインドの低下により買い物自体を控える動きが続いていることや、外出回数・時間をなるべく減らしたいとの考えから、複数の店舗で買いまわるのではなく、買い物先を集中する動きが強まっているとみられる。

## 今冬購入予定の商品ベスト5

	全体	20代	30代	40代	50代以上
1位	婦人服	婦人服	子供服	紳士服	紳士服
2位	紳士服	家具・インテリア	婦人服	婦人服	婦人服、4K・8Kテレビ（同順位）
3位	子供服	暖房機器	紳士服	子供服	
4位	暖房機器	紳士服	暖房機器	スマートフォン	パソコン
5位	家具・インテリア	子供服	家具・インテリア、ハンドバック・靴（同順位）	パソコン	暖房機器

## 購入予定の店舗（複数回答）



### 3 おけいご事、塾・サークル

#### 参加したいおけいご事は「料理」が1位

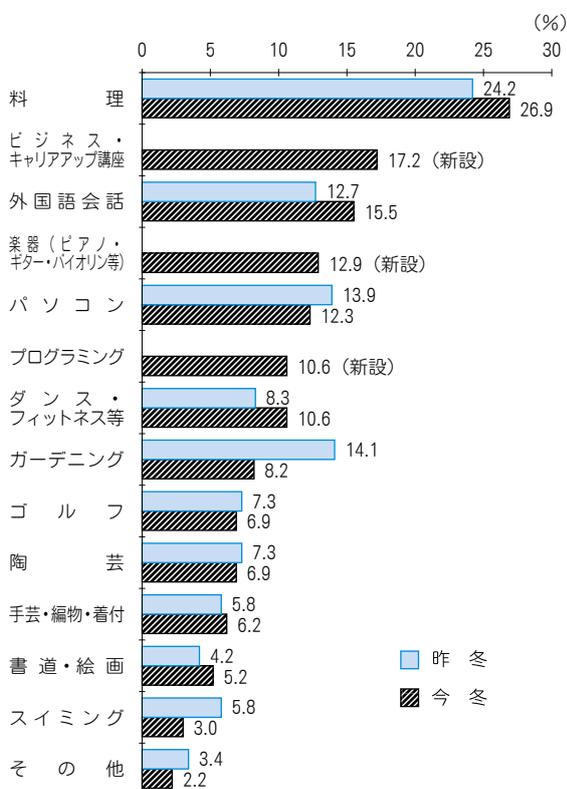
参加したいおけいご事や塾・サークル（複数回答）は、「料理」が1位となり、以下、「ビジネス・キャリアアップ講座」、「外国語会話」、「楽器」、「パソコン」、「プログラミング」の順となった。今回新設した「ビジネス・キャリアアップ講座」、「楽器」、「プログラミング」がそれぞれ2位、4位、6位と上位になっており、人気の高い様子が窺われた。

昨冬と比較すると、「料理」、「外国語会話」、「ダンス・フィットネス等」、「手芸・編物・着付」、「書道・絵画」の比率が上昇した一方、「パソコン」、「ガーデニング」、「ゴルフ」、「陶芸」、「スイミング」の比率は低下した。特に、

昨冬は「巣ごもり」人気がみられた「ガーデニング」（△5.9ポイント）の低下が目立った。

上位項目を年代別にみると、20代、30代、40代では1位から3位までが全体と同順位となっている（40代ではプログラミングが同率3位）が、50代以上では1位が「料理」で、2位が「パソコン」、3位が「ビジネス・キャリアアップ講座」・「楽器」（同順位）となっている。その他の項目を見ると、「ダンス・フィットネス等」は20代、30代の、「陶芸」、「手芸・編物・着付」は30代の、「ガーデニング」は50代以上の人気が比較的高くなっている。

やってみたいおけいご事、塾・サークル  
（複数回答）



やってみたいおけいご事、塾・サークル  
（複数回答）

	全体 (%)	20代 (%)	30代 (%)	40代 (%)	50代以上 (%)
料理	26.9	44.0	28.0	20.6	20.6
ビジネス・キャリアアップ講座	17.2	22.0	21.5	15.0	13.1
外国語会話	15.5	19.3	20.6	14.4	10.6
楽器 (ピアノ・ギター・バイオリン等)	12.9	13.8	12.1	12.5	13.1
パソコン	12.3	9.2	9.3	13.8	15.0
プログラミング	10.6	6.4	12.1	14.4	8.8
ダンス・フィットネス等	10.6	18.3	15.9	8.8	3.8
ガーデニング	8.2	2.8	8.4	9.4	10.6
ゴルフ	6.9	6.4	6.5	6.3	8.1
陶芸	6.9	6.4	10.3	5.0	6.9
手芸・編物・着付	6.2	8.3	11.2	3.1	4.4
書道・絵画	5.2	7.3	4.7	4.4	5.0
スイミング	3.0	1.8	1.9	3.1	4.4
その他	2.2	1.8	2.8	1.9	2.5

## 4 貯蓄

### 平均貯蓄額は500万円

現在の貯蓄額の平均額は500万円と、昨冬(505万円)に比べて5万円の減少となった。

貯蓄額の分布をみると、「100万円以下」が最多で、以下、「101万円～200万円」、「2,001万円以上」、「201万円～300万円」・「401万円～500万円」(同順位)、「1,001万円～1,500万円」、「301万円～400万円」、「501万円～600万円」の順となった。

利用している金融商品(複数回答)は、「銀行預金」が84.9%と最も多く、以下、「ゆうちょ銀行貯金」、「生命保険」、「個人年金」、「投資信託」、「株式」の順となった。

年代別に利用率をみると、「銀行預金」は30代以上で8割超となっている。また、「株式」は年代が高くなるに連れて利用率が上昇している。

### 今後増やしたい金融商品は「銀行預金」が最多

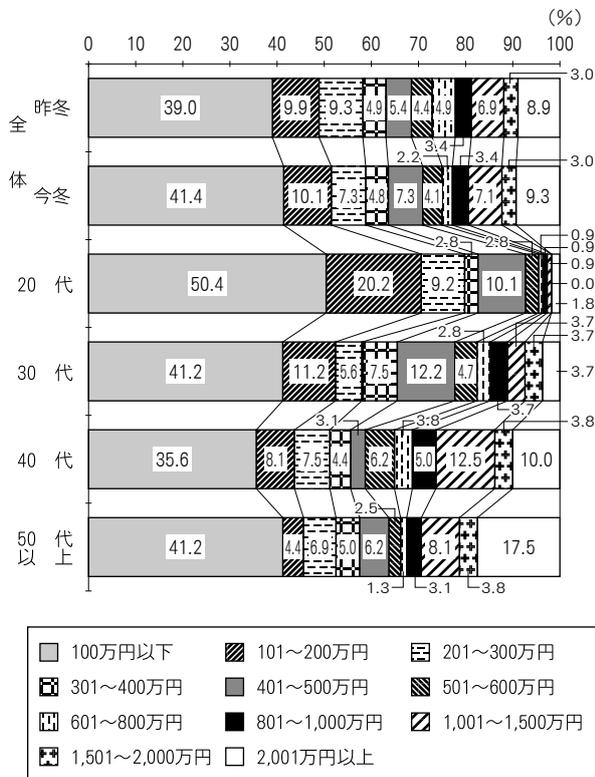
今後増やしたい金融商品(複数回答)は、「銀行預金」が最多で、以下、「ゆうちょ銀行貯金」、「投資信託」、「株式」、「個人年金」の順となった。

年代別にみると、すべての年代で1位が「銀行預金」となっている。2位は、20代では「ゆうちょ銀行貯金」・「株式」(同順位)、30代及び50代以上では「ゆうちょ銀行貯金」、40代では「投資信託」となっている。

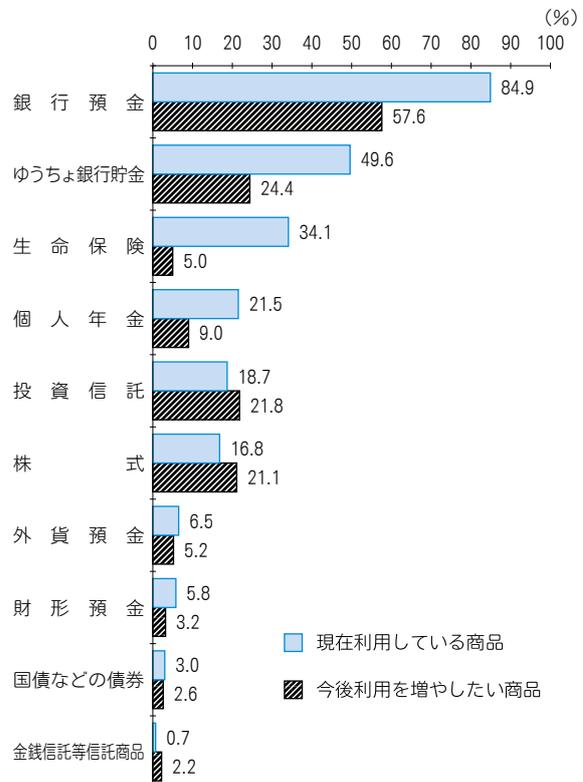
貯蓄をする際、重視する点(3項目選択)は、「元金の保証があり安心」が最多で、以下、「利回りが良い」、「預け入れ引き出しが自由」、「値上がり期待できる」、「利用金融機関が自宅から近い」の順となった。

年代別にみると、20代で「預け入れ引き出しが自由」、30代以上で「元金の保証があり安心」が1位となっている。

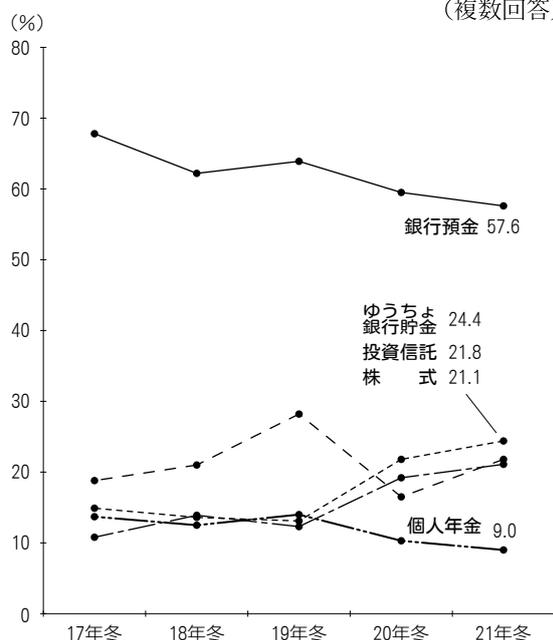
現在の貯蓄額



金融商品の利用(複数回答)



今後利用を増やしたい金融商品の推移  
(複数回答)



貯蓄する際重視する点 (3項目まで選択)  
(%)

	全体	20代	30代	40代	50代以上	昨冬順位
元金の保証があり安心	49.4	31.2	50.5	48.8	61.9	1
利回りが良い	45.0	43.1	43.0	48.1	44.4	2
預け入れ引き出しが自由	41.8	51.4	46.7	37.5	36.3	3
値上がり期待できる	24.8	27.5	28.0	23.8	21.9	4
利用金融機関が自宅から近い	14.6	21.1	12.1	12.5	13.8	5
利用金融機関のサービスが良い	10.6	19.3	7.5	8.8	8.8	6
利用金融機関に友人、知人がいる	3.5	4.6	5.6	4.4	0.6	7
利用金融機関が勤務先から近い	3.4	5.5	2.8	1.3	4.4	8
勤務先が利用金融機関と取引している	1.7	0.0	2.8	2.5	1.3	9
利用金融機関が集金にきてくれる	1.1	1.8	0.0	2.5	0.0	10
その他	2.6	3.7	0.9	3.8	1.9	-

## 5 ローン等の利用

### 平均借入額は1,028万円

ローン等の利用状況を見ると、利用者は28.9%で、平均借入額は1,028万円となった。昨冬と比較すると、利用者の比率は0.5ポイント上昇し、平均借入額は40万円増加した。

利用目的(複数回答)は、「土地・住宅の購入」が最も多く、以下、「自動車・家電品の購入」、「教育資金以外の生活資金」と続いた。昨冬と比較すると、「自動車・家電品の購入」、「旅行・レジャー」の比率が上昇した一方、「教育資金以外の生活資金」、「土地・住宅の購入」は低下した。

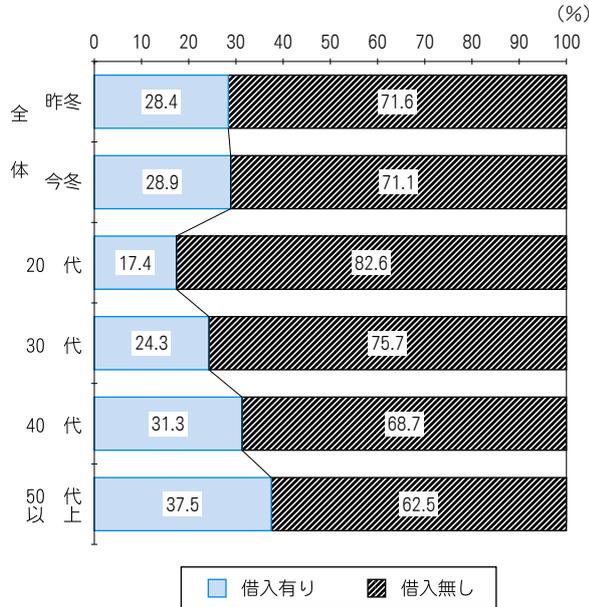
借入先(複数回答)は、「銀行」が最も多く、以下、「月賦・クレジット会社」、「銀行以外の金融機関」、「政府系金融機関」の順となった。昨冬と比較すると、「勤務先」、「政府系金融機関」、「銀行」、「月賦・クレジット会社」、「銀行以外の金融機関」の各比率は低下した。

これらを年代別にみると、ローン利用者の割合は年代が上がるほど高くなっており、平均借入額は、20代422万円、30代1,049万円、40代1,354万円、50代以上939万円となった。

また、利用目的は、20代で「自分の教育資金・自己啓発の資金」、30代以上で「土地・住宅の購入」がそれぞれ最多となっている。なお、借入先は、すべての年代で「銀行」が1位となっている。

## 6 冬季ボーナス

ローン等の利用状況



### 手取り額は減額が増額を上回る

昨冬と比べた今冬のボーナス（手取り額）の予想は、「増えそう」が7.4%、「減りそう」が34.2%となり、引き続き「減りそう」が「増えそう」を上回った。

両比率の差（「増えそう」－「減りそう」）は、△26.8と、昨冬の△44.7から17.9ポイント上昇した。依然として新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、ワクチン接種が広がり、経済活動が徐々に正常化に向かうなか、企業業績の持ち直しを背景に、ボーナス支給に対する厳しい見方が緩和している様子が窺える。

なお、年代別にみると、すべての年代で「減りそう」の比率が「増えそう」の比率を上回った。

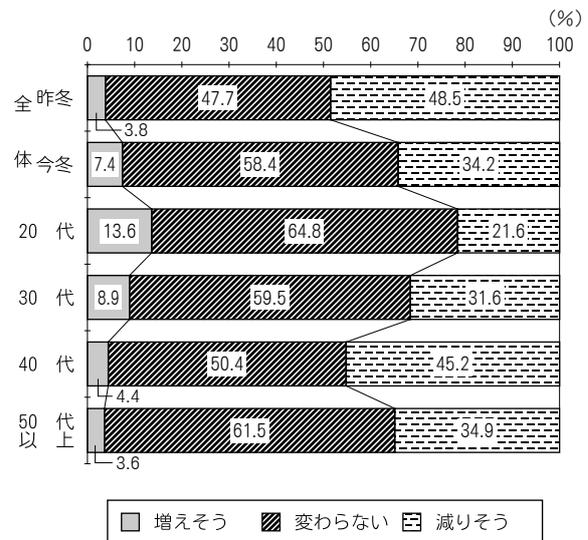
ローン等の借入先・利用目的

（複数回答）

(%)

		全体	20代	30代	40代	50代以上
利用目的	土地・住宅の購入	56.8	26.3	53.8	64.0	61.7
	自動車・家電品の購入	23.9	21.1	30.8	18.0	26.7
	教育資金以外 の生活資金	8.4	0.0	3.8	16.0	6.7
	子や孫などへの 教育資金	4.5	0.0	0.0	4.0	8.3
	旅行・レジャー資金	7.1	5.3	7.7	8.0	6.7
	自分の教育資金（奨学金など） ・自己啓発の資金（資格取得など）	6.5	31.6	11.5	2.0	0.0
	その他	7.7	21.1	7.7	2.0	8.3
借入先	銀行	60.0	36.8	57.7	68.0	61.7
	月賦・クレジット会社	23.9	15.8	23.1	26.0	25.0
	銀行以外の金融機関	11.0	10.5	7.7	4.0	18.3
	住宅金融支援機構 等政府系金融機関	9.0	5.3	7.7	6.0	13.3
	勤務先	0.6	5.3	0.0	0.0	0.0
	その他	7.7	26.3	11.5	4.0	3.3

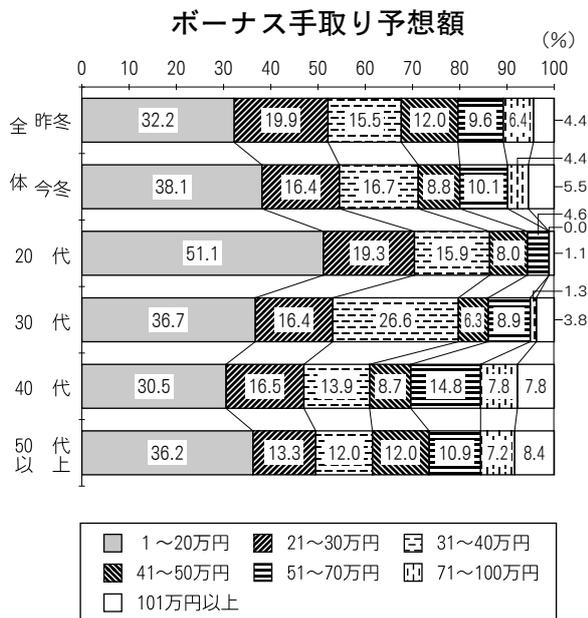
冬季ボーナス増減予想



## 平均手取り予想額は35万7千円

手取り予想額は、「1～20万円」が最も多く、以下、「31～40万円」、「21～30万円」、「51～70万円」の順となった。

また、平均手取り額は35万7千円となった。年代別にみると、20代が25万7千円、30代が32万5千円、40代が42万円、50代以上が40万7千円となっている。



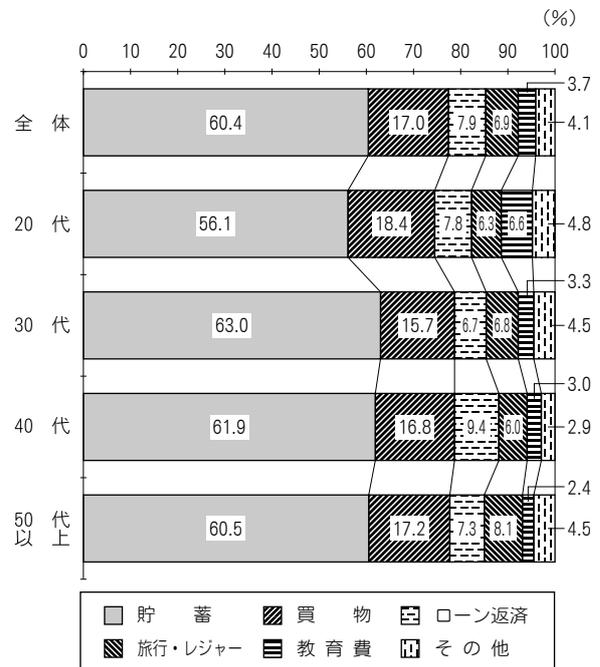
## 「貯蓄」の配分割合が6割を占める

ボーナスの使いみちは、「貯蓄」の比率が最も高く、以下、「買物」、「ローン返済」、「旅行・レジャー」、「教育費」の順となった。

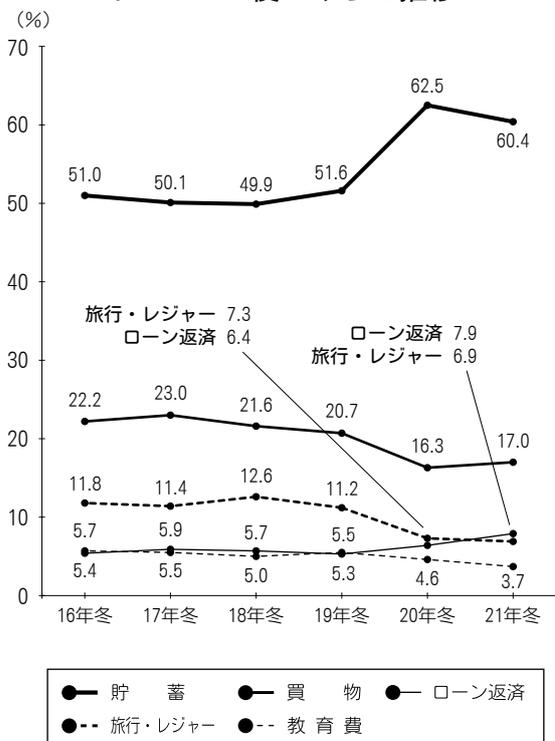
昨冬と比較すると、「ローン返済」、「買物」の比率が上昇した一方、「貯蓄」、「教育費」、「旅行・レジャー」は低下した。新型コロナウイルス感染症の収束がみえないなか「貯蓄」への配分が依然として高い水準を維持している。一方、「買物」の配分割合が上昇しており、ワクチン接種が進むことで、外向きの消費行動を再開する兆しも窺える。

なお、年代別にみると、すべての年代で1位は「貯蓄」、2位は「買物」となった。3位は20代、40代で「ローン返済」、30代、50代以上で「旅行・レジャー」となった。

## ボーナスの使いみち



## ボーナスの使いみちの推移



## 7 お歳暮

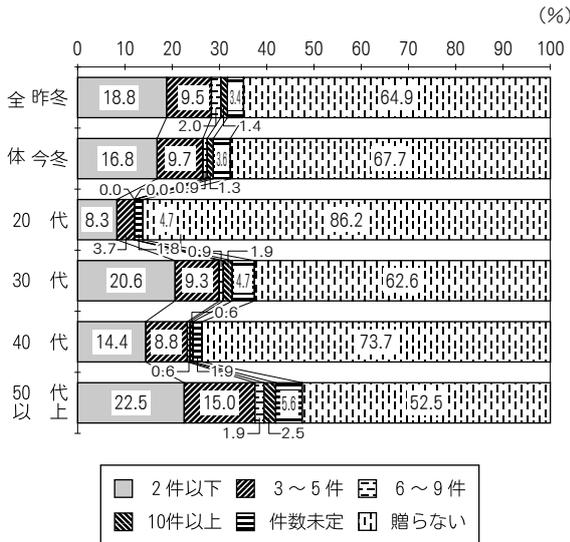
### 贈る件数は平均 2.6 件

今冬、お歳暮を贈る予定のある人は 32.3%で、昨冬（35.1%）と比べて 2.8%低下した。

贈る件数は「2 件以下」が最も多く、以下、「3～5 件」、「件数未定」、「10 件以上」、「6～9 件」の順で、平均贈答件数は 2.6 件となった。

年代別にみると、贈る予定のある人は、20 代が 13.8%、30 代が 37.4%、40 代が 26.3%、50 代以上が 47.5%となっており、平均贈答件数は、20 代が 2.4 件、30 代が 2.6 件、40 代が 2.5 件、50 代以上が 3.0 件となった。

### お歳暮を贈る件数



### 平均単価は 4,042 円、平均予算は 10,510 円

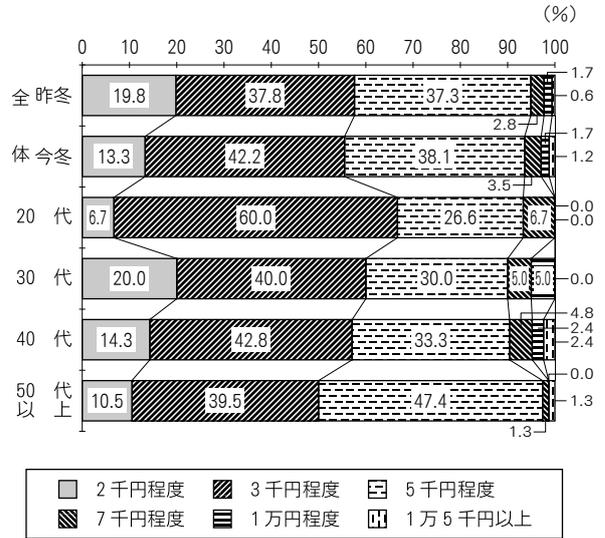
1 件あたりの単価は、「3,000 円程度」が 42.2%と最も多く、次いで「5,000 円程度」が 38.1%となっており、この両方で約 8 割を占めた。

また、平均単価は 4,042 円、平均予算総額は 10,510 円となった。

なお、年代別の平均単価は、20 代が 4,235 円、30 代が 4,207 円、40 代が 4,160 円、50 代以上が 3,622 円となっており、平均予算総額は、各々 10,165 円、10,938 円、10,400 円、10,866 円となった。

### お歳暮の相場

(1 件当たり平均単価)



### 引き続き「ビール」がトップ

お歳暮に贈りたい商品（5 品目まで選択）は、「ビール」（含むビール券、以下同じ）が最多で、以下、「ハム」、「お菓子」、「調味料」、「食用油」の順となった。

年代別にみると、1 位は 20 代が「お菓子」、30 代と 40 代が「ビール」、50 代以上が「ハム」であった。また、2 位は 20 代が「カタログギフト」、30 代と 40 代が「ハム」、50 代以上では「ビール」となっている。

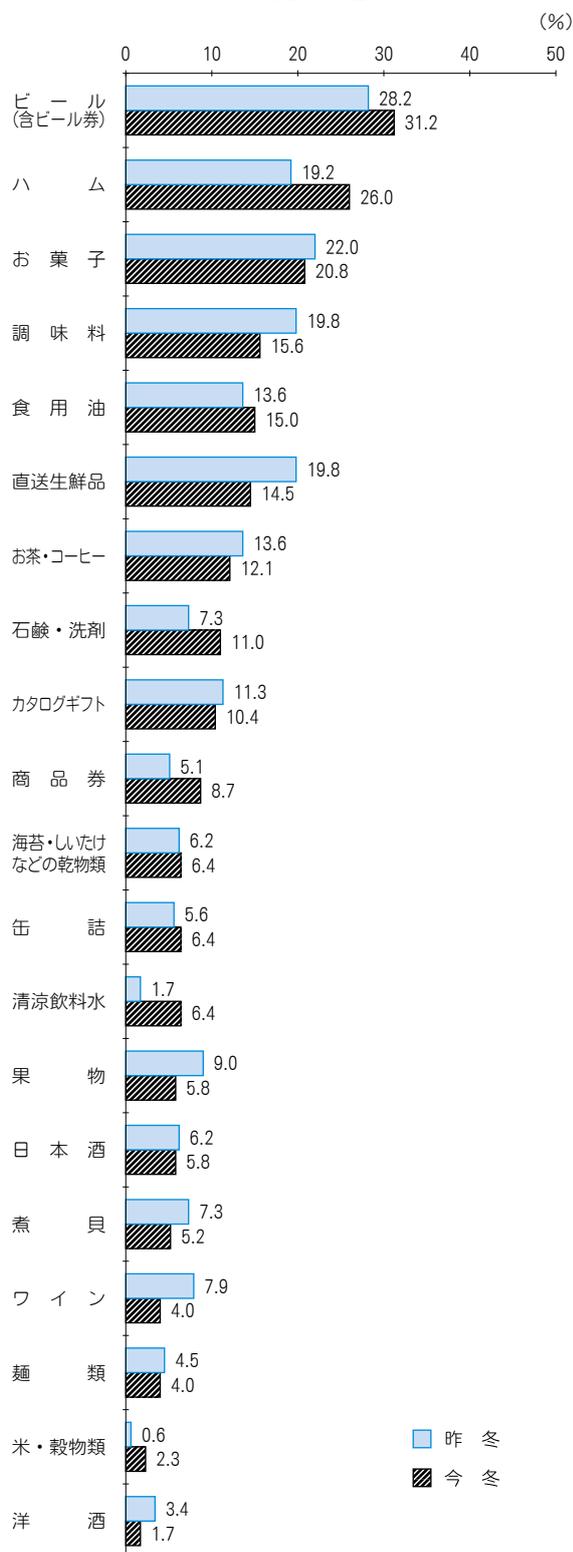
### お歳暮に贈りたい商品ベスト 5

順位	20 代	30 代	40 代	50 代以上
1	お菓子	ビール (含むビール券)	ビール (含むビール券)	ハム
2	カタログギフト	ハム	ハム	ビール (含むビール券)
3	ビール (含むビール券)	お菓子	お菓子、 商品券 (同順位)	お菓子、 食用油、 調味料 (同順位)
4	ハム、 直送生鮮品 (同順位)	食用油	お菓子、 商品券 (同順位)	
5		お茶・コーヒー、 調味料 (同順位)	直送生鮮品、 麺類 (同順位)	

## 8 冬休み、年末・年始の過ごし方

### お歳暮に贈りたいもの

(5品目まで選択)



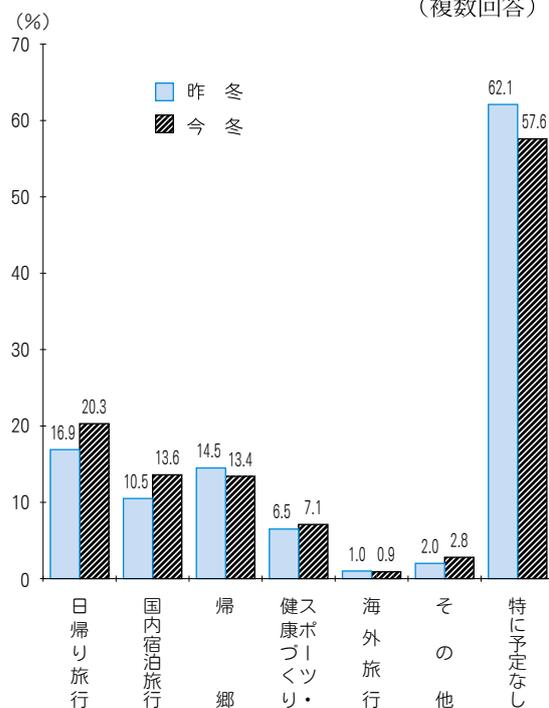
### 「日帰り旅行」、「国内宿泊旅行」が増加

冬休み、年末・年始の過ごし方(複数回答)は、「特に予定なし」が57.6%と最多となった。以下、「日帰り旅行」、「国内宿泊旅行」、「帰郷」、「スポーツ・健康づくり」、「海外旅行」の順となった。

昨冬と比較すると、「特に予定なし」が4.5ポイント低下した一方、「日帰り旅行」、「国内

### 冬休み、年末・年始の過ごし方

(複数回答)



### 冬休み、年末・年始の過ごし方 (複数回答) (%)

	全体	20代	30代	40代	50代以上
日帰り旅行	20.3	28.4	18.7	22.5	13.8
国内宿泊旅行	13.6	13.8	14.0	13.1	13.8
帰郷	13.4	16.5	15.9	13.1	10.0
スポーツ・健康づくり	7.1	5.5	8.4	6.9	7.5
海外旅行	0.9	0.0	0.9	1.9	0.6
その他	2.8	4.6	1.9	3.8	1.3
特に予定なし	57.6	47.7	56.1	57.5	65.6

宿泊旅行」は各々 3.4 ポイント、3.1 ポイント上昇した。足元で新型コロナウイルスの感染者数が減少し、外出制限が解除されるなか、近場で旅行を楽しみたいという傾向が窺われる。

年代別にみると、「特に予定なし」を除いた場合、1位は20代、30代、40代が「日帰り旅行」、50代以上は「日帰り旅行」・「国内宿泊旅行」（同順位）となっている。

「国内宿泊旅行」の宿泊日数をみると、「1泊」が60.6%、「2泊」が23.9%、「3泊」が11.3%で、平均宿泊日数は1.7日となった。

なお、「特に予定なし」を回答された方に対し、外出の予定を立てないことについて、新型コロナウイルス感染拡大の影響の有無を伺ったところ、「非常にある」（20.4%）、「ややある」（20.0%）の合計が40.4%を占めた。外出を控える原因として、依然感染防止の意識が根強い様子が窺える。

## (特別調査) 新型コロナウイルス感染症関連

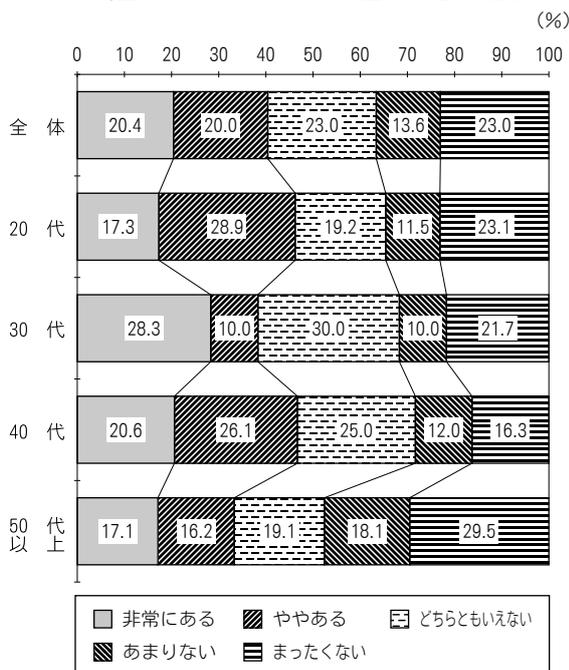
本調査では、新型コロナウイルス感染症への不安の程度とその理由、また、感染収束後において、個人がどのような行動を希望しているかについて伺った。

### 新型コロナウイルスに7割強の方が不安

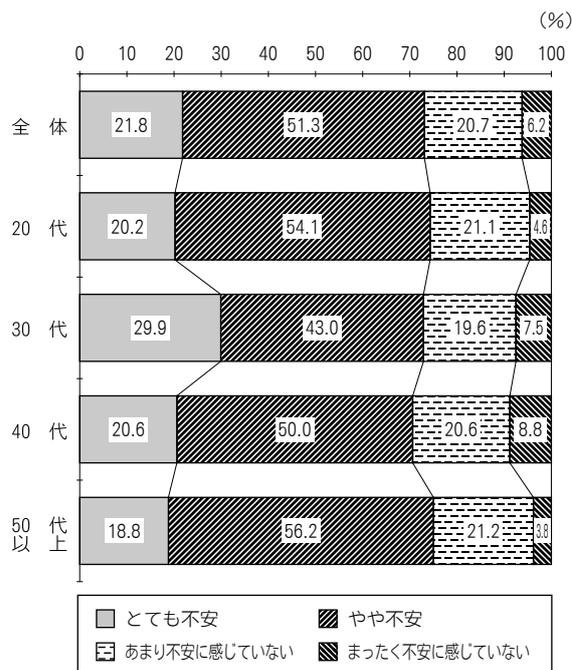
新型コロナウイルスに対する不安の程度については、「とても不安に感じている」が21.8%、「やや不安に感じている」が51.3%と合計73.1%となった。ワクチン接種は進んでいるものの、依然として、新型コロナウイルス感染に対する不安が大きいものと考えられる。

不安に感じる理由（複数回答）としては、1位の「いつどこで感染するかわからない」（67.4%）、2位の「いつ感染が収束するかわからない」（53.0%）がほかの回答を引き離した。年代別にみても、すべての年代で1位、2位ともに全体と同順位となっている。3位は20代、30代、40代が「家族（子どもなど）への感染」、50代以上は「感染による重症化、後遺症」となった。

冬の予定を立てないことについて、  
新型コロナウイルス感染症の影響の程度



新型コロナウイルスに対する不安の程度

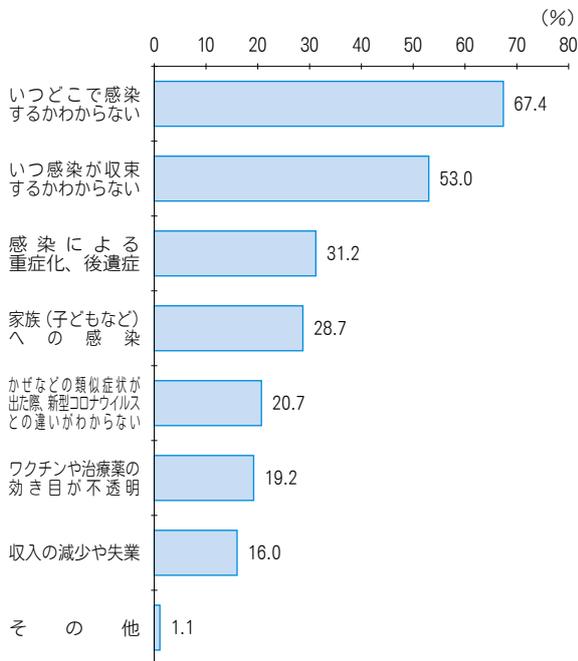


## 積極的な旅行意向が継続

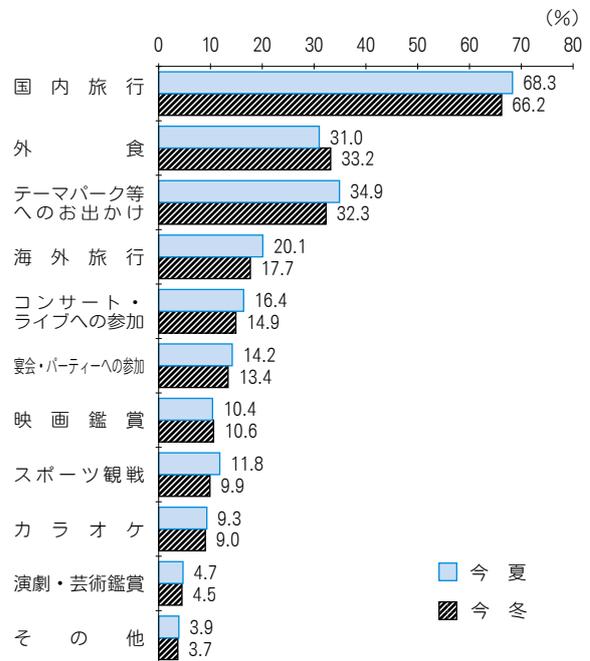
感染収束後にやりたいこと（複数回答）については、「国内旅行」が66.2%と最多を占めた。以下、「外食」、「テーマパーク等へのお出かけ」、「海外旅行」、「コンサート・ライブへの参加」の順となった。前回に引き続き、「国内旅行」を6割以上の方が希望しており、積極的な旅行意向が継続している様子が窺われる。

年代別にみると、すべての世代で「国内旅行」が1位となっている。2位は20代、30代で「テーマパーク等へのお出かけ」、40代以上は「外食」となった。3位は20代が「コンサート・ライブへの参加」、30代が「外食」、40代は「テーマパーク等へのお出かけ」、50代以上は「海外旅行」・「映画鑑賞」（同順位）となった。

### 新型コロナウイルスを不安に感じる理由



### 感染収束後にやりたいこと



※本設問は今夏からの調査のため、今夏の調査結果と比較している。

### 感染収束後にやりたいことベスト5

順位	20代	30代	40代	50代以上
1	国内旅行	国内旅行	国内旅行	国内旅行
2	テーマパーク等へのお出かけ	テーマパーク等へのお出かけ	外食	外食
3	コンサート・ライブへの参加	外食	テーマパーク等へのお出かけ	海外旅行、映画鑑賞 (同順位)
4	海外旅行	海外旅行	スポーツ観戦	
5	外食、宴会・パーティーへの参加 (同順位)	宴会・パーティーへの参加	海外旅行	テーマパーク等へのお出かけ、 宴会・パーティーへの参加 (同順位)

キャッシュレスな毎日を。

お買い物やお金の管理がスムーズに。

YAMANASHI TARO

GOOD MONTH/YEAR  
THRU 月/年  
有効期限 00/00

0000 0000 0000 0000

山梨中銀 Visa デビット

—マイデビット—

MyDebit



## Let's cashless!

- 現金よりも便利、安心
- アプリで収支が見える
- お買い物のたびにスグに口座から引き落とし
- 国内・海外のVISA加盟店で使える
- お得なキャッシュバック特典付き
- 15歳以上(中学生を除く)からご利用可能！審査不要！

※初年度年会費は無料です。次年度以降、年会費1,100円(税込)が必要となりますが、一定の条件により無料となります。(2020年7月1日現在)

Webでのお申し込みはこちらから



山梨中央銀行

VISA